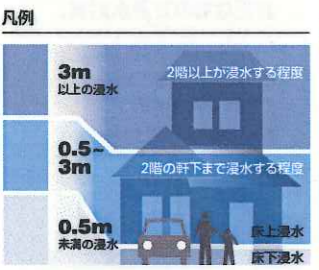


保存版 京都市防災マップ 水災害編 伏見区版 大雨が引き起こす災害

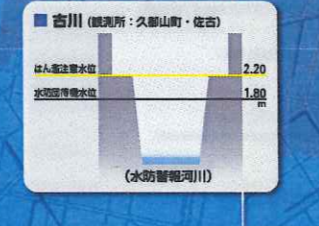
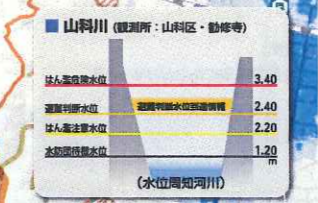
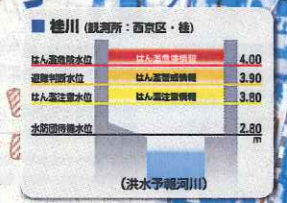
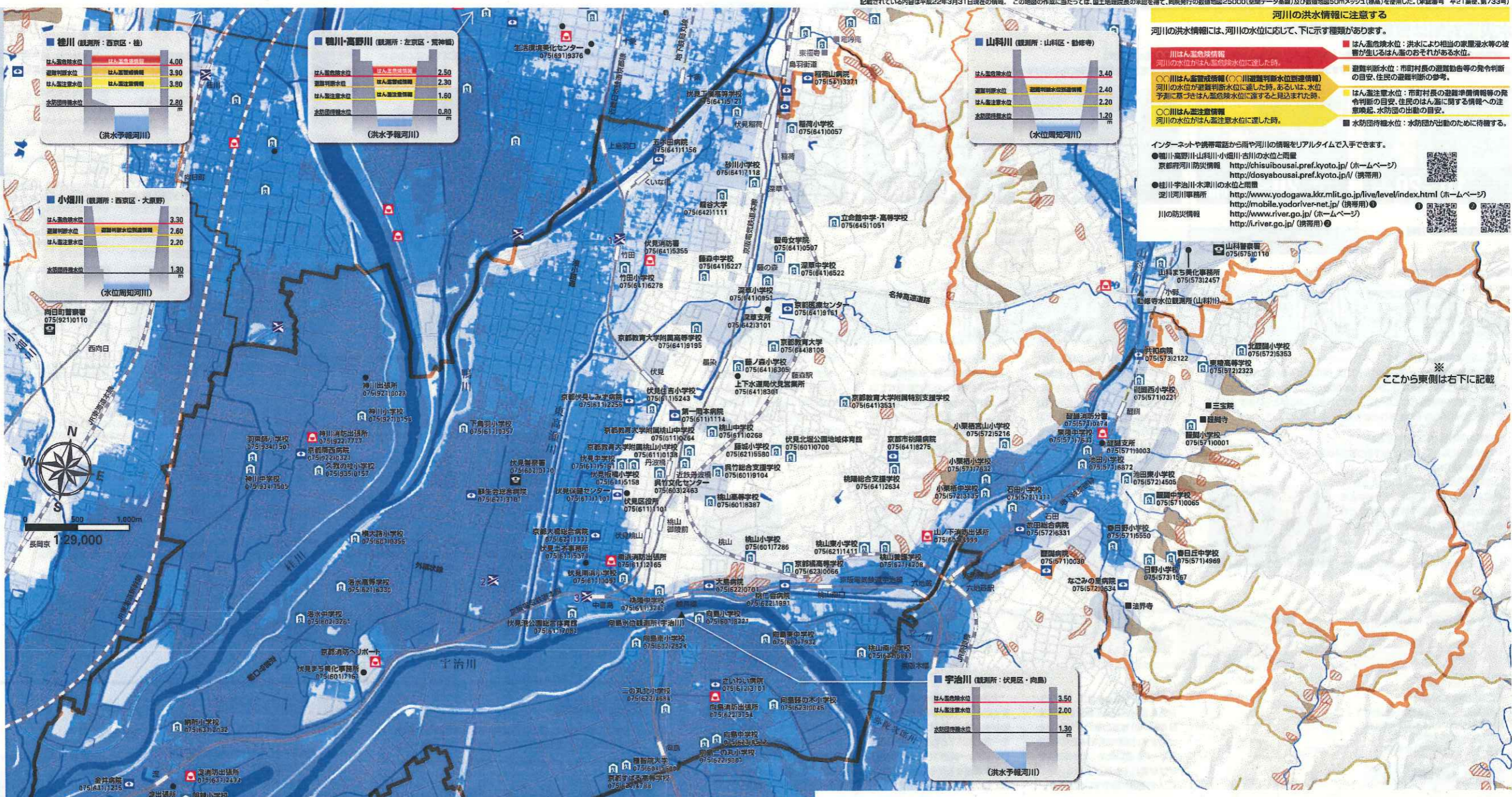
京都市防災マップ水災害編・伏見区版は、市内を流れる主要河川(桂川・宇治川・木津川・鴨川・高野川・山科川・小畑川・吉川・堂ノ川・弥次郎川)を対象に、東海豪雨(平成12年9月発生)規模の大雨による河川のはん濫を想定した浸水区域や深さを示し、水災害からの避難についてまとめたものです。

想定した浸水想定区域や深さは、上記河川の浸水想定区域図(国土交通省又は京都府が作成、公表)を重ね合わせ、最大の浸水の深さを示しています。いざというときのために、自宅、学校、仕事場などの普段の生活の場とその付近の浸水の深さ・避難所の位置と道順などを確認しておきましょう。

なお、雨の降り方や地形状況によっては、浸水想定区域外においても、浸水や土砂災害が発生することもありますので、大雨の時には注意してください。



- 過去に浸水した区域
 - 土石流による被害のおそれのある区域: 深流の勾配が15%以上、人家等が存在し、被害のおそれのある区域
 - 流路(谷筋)
 - 急傾斜: 傾斜度30%以上、高さ5m以上の急傾斜地(人工斜面を含む)で被害のおそれのある人家等が存在する箇所
- なお、想定区域外においても、土砂災害が発生することもありますので、山すそなどは注意してください。
- 避難所
 - アンダーパス
 - 地下街
 - 病院
 - 警察
 - 消防
 - 保健センター
 - 官公庁
 - 国宝・世界遺産
 - JR
 - 私鉄
 - 地下鉄
 - 河川・池



防災メモ

あなたのお家の予想される浸水の深さはどれくらいですか?
 3m以上 0.5-3m未満 0.5m未満

洪水の時に避難する場所を決めておきましょう。

水害時に一時的に避難する場所#1
(例: 近くの〇〇ビル、自宅2階)

避難所#2
(例: 〇〇小学校)

*1 緊急的に自身の身を水災害から守るために避難する場所で、あらかじめ自主防災組織や町内会などで話し合っておきましょう。
 *2 洪水で自宅が被害を受けたり被害を受ける恐れがある場合に避難する場所で、小学校等が指定されています。

浸水の様子と避難行動

3m以上の浸水: 河川の洪水予報がでたら、3階以上へ避難する。

- 床上浸水(2階までまで浸水)
- 水が流れ込む場合は、水浸住宅が倒壊する危険
- 河川の水位情報に注意
- 河川の洪水予報がでたら、避難を始める
- 早い決断で、避難所に移動
- 移動の際には貴重品にも注意
- お年寄りなどの避難に協力
- 事前に避難先を確認しよう
- 3日程度は、避難所で過ごす覚悟で

予想される浸水の深さによって、適切な避難行動は異なります。

0.5-3m: 大雨洪水警報がでたら、2階へ避難する。

- 床上浸水(1階までまで浸水)
- 被害は床上浸水の7割
- 貴重品に注意
- 河川の水位情報にも注意
- 強い水流の中を歩くことはきわめて危険
- 近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 水・食べ物・貴重品・トイレ・懐中電灯・ラジオ・貴重品などを2階に持って上がる
- お年寄りやお年寄りも一緒に

あわてずに! むやみな移動はかえって危険。

0.5m未満の浸水

- 床上浸水(土間だけの浸水)
- 浸水の深さがひざ上になると歩行は危険
- 貴重品に注意
- 地下への浸水
- 地上が浸水すると一気に水が流れ込んで出てくる危険
- 浸水した道路には危険が潜む
- 移動はできるだけ高い道路を選ぶ
- 浸水箇所ではさくぐり棒を持つなど、側溝や水路、マンホールに落ちないように十分注意

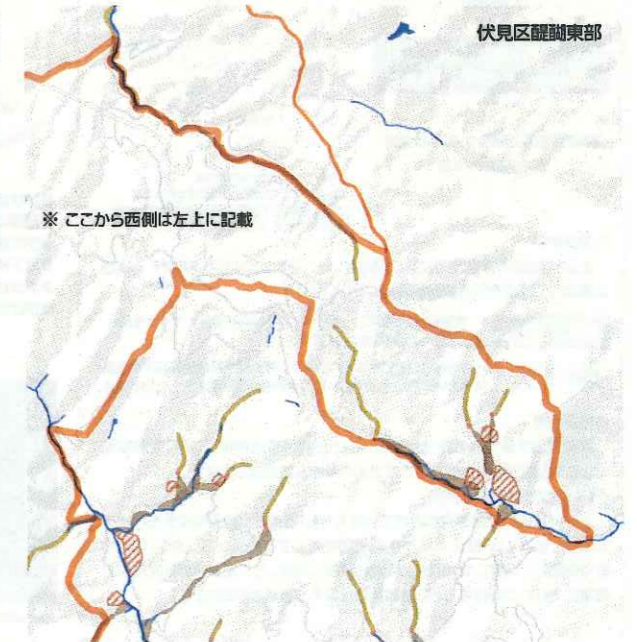
河川の洪水情報に注意する

河川の洪水情報には、河川の水位に応じて、下を示す種類があります。

- 川はん濫危険情報: 川はん濫危険水位に達した時、河川の水位がはん濫危険水位に達した時、はん濫危険水位に達した時、はん濫危険水位に達した時。
- はん濫危険水位: 洪水により相当の家屋浸水等の被害が生じるはん濫危険水位。
- 避難判断水位: 市町村長の避難勧告等の発令判断の目安、住民の避難判断の参考。
- はん濫注意水位: 市町村長の避難準備情報等の発令判断の目安、住民のはん濫に関する情報への注意喚起、水防団の出動の目安。
- 水防団警戒水位: 水防団が出動のために待機する。

インターネットや携帯電話から河川の情報をリアルタイムで入手できます。

- 鴨川・高野川・山科川・小畑川・吉川の水位と雨量: <http://chiuibusai.pref.kyoto.jp/> (ホームページ)
- 京都府河川防災情報: <http://dosyabusai.pref.kyoto.jp/> (携帯用)
- 桂川・宇治川・水津川の水位と雨量: <http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/live/level/index.html> (ホームページ)
- 山科川事務所: <http://mobile.yodofver-net.jp/> (携帯用)
- 川の防災情報: <http://www.river.go.jp/> (ホームページ)
- <http://river.go.jp/> (携帯用)



水災害対策は気象情報の収集から

気象情報は、気象庁から報道機関等を通じてみなさんに伝えられる最も身近な防災に関する情報です。注意報や警報が発せられたら、テレビやラジオから情報を収集するとともに、インターネットを活用した情報収集にも心がけましょう。

雨量レベル表: やや強い雨 (10~20mm), 強い雨 (20~30mm), 激しい雨 (30~50mm), 非常に激しい雨 (50~80mm), 猛烈な雨 (80mm~)

気象情報の注意報・警報

大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報

人への影響/屋外の様子

地面からの跳ね返りで足元がぬかる、道路が川のようになる、地下空間の浸水、河川のはん濫

河川災害の主な前兆現象!

強い雨が広範囲に、長時間続くとともに、河川がはん濫する危険性が高まります。堤防決壊の前兆には、次のような現象が起こります。

- 堤防の川側面が崩れ始めたとき
水が激流となって、堤防の土が削り取られたり、護岸が壊れ始めたとき
堤防の側面から水が漏れだしたとき
増水が早く、水が堤防を越えそうとき
水かさが増し、堤防に亀裂が生じたとき
堤防近くの地盤から、水が噴きだすとき

土砂災害発生状況

この程度の雨でも長く続くときは注意が必要、小規模のかけ崩れが始まる、山崩れかけ崩れが起きやすくなる、土石流が起りやすい多くの災害が発生する

土砂災害警戒情報、土砂災害警戒情報、大雨注意報、大雨警報、土砂災害警戒情報、避難勧告等を発令する際の判断

発表基準、発表、解除

伝達経路、京都府と京都府気象台が発表した土砂災害警戒情報は、災害対策本部を通じて危険箇所にお住まいの市民のみなさんに伝えられます。

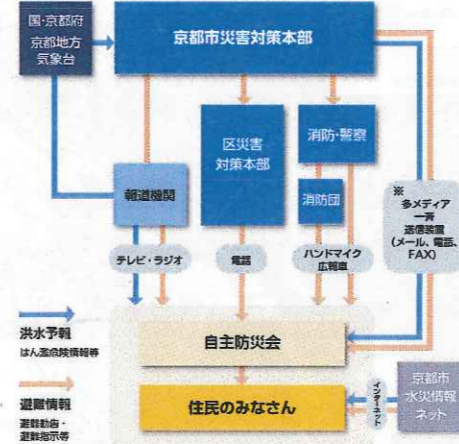
かけ崩れ、土砂災害警戒情報、土砂災害警戒情報、土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報、土砂災害警戒情報、土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報、土砂災害警戒情報、土砂災害警戒情報

洪水予報、避難情報の伝達方法

河川の洪水予報、避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝えられます。



※多メディアへ発信経路... 京都市水災情報システムの機能の一部で、様々な防災情報をあらかじめ登録された方に一括して伝えることができる。

アンダーパスの冠水に注意!

アンダーパスとは、交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のことをいいます。



近年、全国各地で多発する集中豪雨(ゲリラ豪雨)により、アンダーパスの冠水で車両が水没するなどの重大な事故が発生しています。

地下空間での浸水に注意!

市街地には、地下鉄や地下通路のほか、地下街、地下駐車場などがあります。地下浸水の危険性をあらためて確認しておきましょう。

地下空間では外の様子がわからない、浸水が始まると脱出が困難に!

避難所へ移動するときの注意事項

洪水が発生する危険が迫っている時には、予想される浸水の深さによって、とるべき行動が異なります。避難所へ移動するときの注意事項

身近なもので浸水対策

身近な材料を使って、浸水を防ぐことができます。日ごろから、浸水への備えをお願いします。

非常持出品

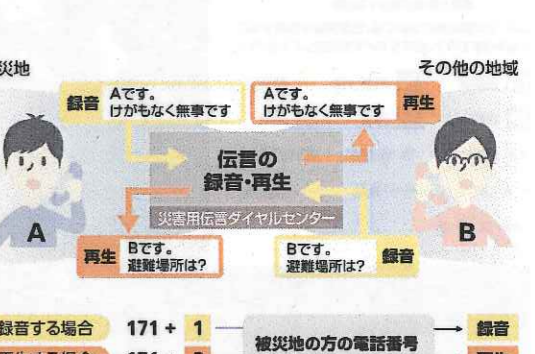
いざという時のため、日ごろから最小限の非常持出品を用意し、リュックサックなど避難時に両手が空くカバンに入れておきましょう。

防災の知識を深める

- 京都市消防局
京都市市民防災センター
国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
京都市(浸水想定区域図)
京都市(土砂災害警戒重点地域マップ)
防災情報提供センター

安否確認の電話は災害用伝言ダイヤルへ

地震や河川のはん濫などの災害が起ると、被災地への安否確認の電話が殺到して電話がつかまりにくくなることがあります。



防災に関する相談

Table with disaster-related consultation contacts for various departments.

緊急通報先

Table with emergency contact numbers for fire, police, etc.

ライフライン

Table with lifeline contact numbers for water, gas, etc.